国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ

1月中旬～2月中旬

みごろスタンプ
園内にミニスタンプがあるよ。さがしにいこう！

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

藍那口
小部明石線(県道52号)
相坂道
藍那歩行者口
畑中口
畑中道
せせらぎ広場
木工棟
里山交流館
伝庫の家
里山情報館
BUS
トラム
農村舞台
長屋門
盆処の丘（展望台）
野草園
白拍子の家
うめ林
かしの小道
もみじ谷
かんきつ山
めだか池
木見川
切通し
小野道
ハス田
小野水田
相談ヶ辻の家
相談ヶ辻歩行者口
木見川散策路
切りサン尾根道
代ヶ谷棚田
もも林
サンデン休憩所
はんのき池
里山美林地区
さくら山
つつじの小道
くり林
椿坂

Photo Spot

切通し東側の草地（ティピの風景）

ヤブツバキ（ツバキ科）

ツバキには様々な種類がありますが、自生のツバキといえばヤブツバキのこと。メジロが蜜を吸いにやってくることもあります。

いきもの

ゴマダラチョウ（タテハチョウ科）

成虫は、黒地に白のまだら模様が特徴的な蝶。冬は幼虫の姿で、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごし、春を待ちます。

ジョウビタキ（ヒタキ科）

♪ヒッヒッヒッ

橙色の胸に、灰色の帽子が特徴的。平地や低山の明るい林で暮らす、もっとも身近な冬鳥の一種。

ヒガンバナ（葉）（ヒガンバナ科）

花は秋の彼岸の頃に咲きますが、葉は花が枯れた後、晩秋～春先までの間見られます。そして、翌年に花が咲く頃には葉はすでに枯れています。

ノスリ（タカ科）

小型のタカの仲間で、秋から冬にかけての渡りの時期によく姿を見かけます。

ツグミ（ツグミ科）

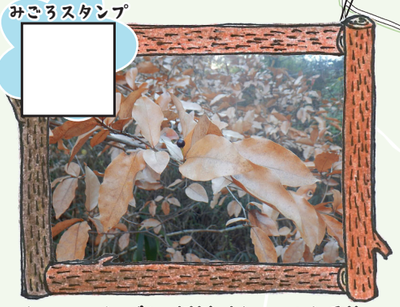
♪キョキョキョキョ

夏になると鳴き声が聴こえなくなる（口をつぐむ）ことが名前の由来といわれていますが、実際は冬になると日本に飛んでくる冬鳥です。

みごろスタンプ

ヤマコウバシ（葉）（クスノキ科）

葉は枯れても枝に残り、落ちないので受験のお守りにもされています。



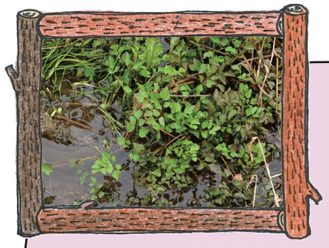
ホトケノザ（シソ科）

春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつきました。

春の七草

田畑のあぜなどで見られます

セリ（セリ科）



オギョウ ハハコグサ（キク科）

ナズナ（アブラナ科）

ハコベラ コハコベ（ナデシコ科）

スズナ カブ（アブラナ科）

スズシロ ダイコン（アブラナ科）

ホトケノザ コオニタビラコ（キク科）